

2024年8月1日
プレミアムグループ株式会社

持続可能なモビリティ社会実現と地域発展を目指して 石垣市と連携協定を締結

～北部地域における交通課題の解決に向けた政策形成～

オートモビリティ企業であるプレミアムグループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴田洋一、以下「当社」）は、石垣市と、それぞれが有する物的・人的資源を連携し、石垣市の持続可能なモビリティ社会の実現と、地域発展に資する市民サービスの向上を寄与することを目的に、連携協定を締結したことをお知らせいたします。



2024年8月1日
石垣市役所にて連携協定締結式を実施
（左から）石垣市長 中山 義隆、
プレミアムグループ株式会社 代表取締役社長 柴田 洋一



2024年8月1日
石垣市役所にて企業版ふるさと納税寄附贈呈式を実施
（左から）石垣市長 中山 義隆、
プレミアムグループ株式会社 代表取締役社長 柴田 洋一

■連携協定の背景

当社はオートモビリティ企業として、SDGs や環境汚染に対する取り組みの必要性と、モビリティサービスの力で八重山諸島の地域住民の方の暮らしを豊かにしたいとの思いから、やいま SDGs シンポジウムへの協賛や、イシガキシ・ミライ共創プロジェクト研究の発足等を通じて石垣市との関係性を構築してまいりました。

この度、プロジェクト研究から生まれた石垣市北部地域の交通課題を解決する事業の実証に必要な財源の一部を企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用し、寄付いたします。石垣市と当社は産官共創を通じて、八重山諸島の地域課題を解決する事業・人材を育成し、地域活性化に貢献いたします。

■事業／支援の概要

伊原間以北の北部地区においては、路線バスの運行本数が少なく、発着時間についても利便性の低い区間になっており、高齢者らが通院や買い物で市街地へ出る際は、外出支援サービスのほか、近隣住民や親戚等が送迎しています。そういった現状を打破すべく、既存の移手段とは別の、利用実態に沿った利便性の高い移手段を構築し、北部地区住民の外出機会増加や移住定住の促進等、生活環境の向上や、持続可能な街づくりに繋げていく事業となっております。

当社は実証に向けて必要な車両をはじめ、モビリティ事業者として有しているノウハウを提供し、持続可能なモビリティ社会の実現と、地域発展に資する市民サービスの向上を寄与してまいります。

当社グループは今後も、「豊かな社会を築き上げる」というミッションを達成するべく、社内外を問わず様々な取り組みやSDGs活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

—————会社情報—————

【プレミアムグループについて】

プレミアムグループは、「オートモビリティ企業グループ」です。

私たちは、仕入れ、購入、利用、整備、買取りをはじめとする「クルマ」に関する様々な行程において、お客様や自動車販売店・自動車整備工場の皆様に先進的なソリューションを提供してまいります。2018年12月に東証一部に上場し、2022年4月にプライム市場へ移行。現在では、国内・海外合わせた20社以上のグループ体制で、東南アジアを中心とした海外でも事業を展開しています。

〈会社概要〉

社 名：プレミアムグループ株式会社（持株会社）

上場市場：東京証券取引所プライム市場（証券コード：7199）

代 表 者：代表取締役社長 柴田洋一

所 在 地：東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー19階

設 立：2015年5月（グループ創業は2007年7月）

資 本 金：1,680百万円

事業内容：株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等

U R L：<https://www.premium-group.co.jp/>

【石垣市について】

豊かな自然環境と独自の伝統文化を有し、年中多くの観光客が訪れる石垣市。琉球弧及び日本列島の最南西端の都市であり、西表石垣国立公園に指定された日本最大のサンゴ礁海域である石西礁湖や、県下最高峰の於茂登岳を中心に八重に重なる連山等、海域・陸域ともに豊かな自然環境に恵まれております。また独自の文化風土のなかから生まれる芸能・音楽も盛んな地であります。産業は観光業をはじめとし、農業、水産・畜産業も石垣市の魅力を支えています。令和2年度には、「SDGs未来都市」に選定され、持続可能なまちづくりを進めております。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

プレミアムグループ株式会社

DX・PR・ガバナンス本部 グループ広報部

M a i l：koho@premium-group.co.jp